



先進国の工夫紹介

熱 田

障害者「優しい」LLブック

知的障害や失語症などの人たちのために読みやすく工夫された本や雑誌「LLブック」についての講演会(中日新聞社など後援)が十六日、熱田区熱田西町の名古屋国際会議場で開かれた。

名古屋キリスト教青年会(YMCA)と障害者支援に取り組む「子どものためのあいちAAC研究所」が主催。LLブックの先進国スウェーデンで「やさしく読める図書センター」所長を務めるブロール・トロンバッケさんが講演した。写真。トロンバッケさんは「情報へのアクセスや社会参加は民主主義の権利」と強調。「国は

すべての人に情報が行き渡るようにしなければ」とLLブックの必要性を訴えた。

行間を十分に広げ、抽象的な言葉を避けて文章を短くまとめるなど、LLブック作りに必要な工夫も紹介。集まった障害者の保護者や教育関係者ら七十人はメモを取りながら熱心に聞き入った。

(吉光慶太)